

仲小路商店街

にじいろ仲小路プラス☆ アライの輪を広げよう!キャンペーン

秋田市と仲小路商店街や秋田駅前の店舗が連携し、街を6色の“にじいろ”に彩るイベントを10月1日(水)から31日(金)まで開催。「にじいろリボン」を目印に、さまざまな取組を行う店舗をめぐり、“にじいろ”が意味する多様な性のあり方について、ぜひ考えてみてください。



「ミネバネ!」展会期中、アトリオン仲小路側入口で、LGBTQ+コミュニティの権利などをテーマにした作品で知られるザネレ・ムホリの写真壁画2点を屋外展示します。こちらもお見逃しなく。

ザネレ・ムホリ
《Bester I, Mayotte》2015年
© Zanele Muholi, Courtesy of Zanele Muholi; Southern Guild, Cape Town/Los Angeles; and Yancey Richardson, New York.

秋田市立千秋美術館

開館時間 ●午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

観 覧 料 ●常設展 一般310円
大学生210円
高校生以下無料

休 館 日 ●9月8日(月)～26日(金)
11月10日(月)～21日(金)

〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8(アトリオン内)
TEL.018-836-7860 FAX.018-836-7862



秋田県立美術館

開館時間 ●午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

観 覧 料 ●展覧会ごとに異なる

休 館 日 ●9月8日(月)～12日(金)
11月10日(月)～14日(金)

〒010-0001 秋田市中通一丁目4-2(エリアなかいち内)
TEL.018-853-8686 FAX.018-836-0877



※2館とも秋田竿燈まつり期間中(8月3日～6日)は午前9時開館

編集 ●秋田市artlineプロジェクト実行委員会

秋田市立千秋美術館

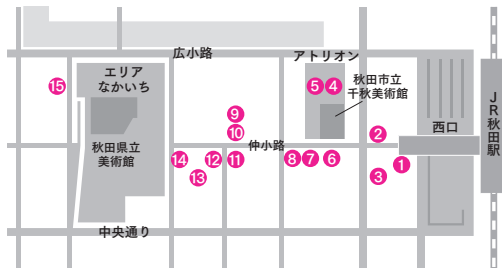
秋田県立美術館指定管理者(公財)平野政吉美術財団
仲小路振興会

発行 ●2025年7月

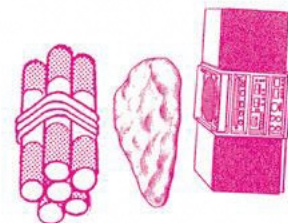
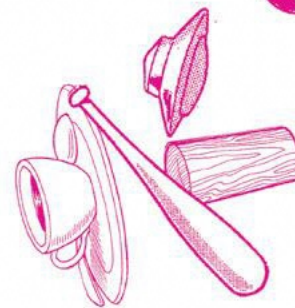
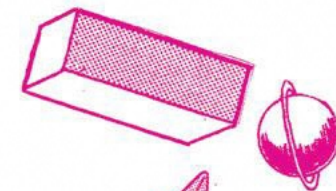
表紙画像: MINEBANE! Contemporary Art -The Taguchi Art Collection -, Akita Museum of Art, Akita Senshu Museum of Art
© Teppei Kaneuji 2025

■お得な半券サービス

秋田県立美術館と千秋美術館をつなぐ仲小路商店街。どちらかの美術館で展覧会を鑑賞し、半券(両館のパスポートも可)を対象店舗で提示すると、各種サービスを受けられます。「アートな街」をお得にお楽しみください。



	店舗名	サービス内容
①	プリモカワカミ (フォンテAKITA1階)	フォンテポイント2倍
②	無限堂 秋田駅前店	お食事の方にワンドリンクサービス
③	カフェ ラドゥ café La Doux (クロッセ秋田2階)	食事後のワンドリンクサービス
④	秋田県産品プラザ	5%割引(一部対象外)
⑤	札幌かに本家 秋田店	お食事の方5%割引 (現金のお支払で)
⑥	ブランジエーノ アキタ Branzi-no Akita	お食事の方にデザートサービス
⑦	そば処 四季	飲食代5%割引
⑧	レモンの部屋	5%割引(一部対象外)
⑨	ティールーム陶	100円引き(平日ランチは除く)
⑩	食器のさかいだ	5%割引(一部対象外)
⑪	Kコレクション&レガロ	ポイント2倍サービス
⑫	仲小路 コーヒー&ワイン	1,000円以上の飲食で5%割引
⑬	親鶏らぁ麺 いし川	トッピング1品サービス
⑭	川口呉服	5%割引(サービス品除く)
⑮	ダイニングレストラン ザ・キャッスル (秋田キャッスルホテル1階)	ご利用金額の5%割引



特別展 巨匠たちのパレット展

【会 期】 2025年9月13日(土) — 11月9日(日) 会期中無休

【会 場】 秋田県立美術館 3Fギャラリー

【観 覧 料】 一般1,000円(800円)、高・大学生800円(600円)、中学生以下無料

※()内は前売り、20名以上の団体料金

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者手帳(ミライロID可)を持参の方と付添1名は半額

【主 催】 巨匠たちのパレット展秋田実行委員会

(秋田県、AKT秋田テレビ、公益財団法人平野政吉美術財団)

「パレット」は絵具を溶き、混ぜ合わせる画材です。画家とパレットは、絵を描く際に欠かすことのできない道具であり、切っても切れないパートナーともいえるでしょう。パレットにのせられた絵具の量や色の配列は画家それぞれの個性や色彩感覚が表れ、同時に画家たちの創作の秘密をも伝えてくれます。

本展では、茨城・笠間日動美術館が所蔵するコレクションのなかから、梅原龍三郎や東郷青児など日本洋画の巨匠たちやピカソやマティスなどの海外作家が実際に使用したパレットとその作品を展示。個性豊かな巨匠たちのパレットを通じて、画家たちの創作の真髄に迫ります。



渡邊榮一《パレット》2005年
作品はいずれも笠間日動美術館蔵



東郷青児《パレット》1967年 ©Sompo Museum of Art, 24033



アンリ・マティス《パレット》1943年頃

関連イベント 特別講演会

日時●9月13日(土) 午後2時から午後3時

講師●長谷川徳七氏(笠間日動美術館館長)、
長谷川智恵子氏(笠間日動美術館副館長)

会場●秋田県立美術館 1Fレクチャールーム

※参加ご希望の方は、事前に電話またはFAXで県立美術館までお申し込みください。

※観覧券または年間パスポートをご持参ください。

宇野亞喜良展 AQUIRAX UNO

【会 期】 2025年9月27日(土) — 11月9日(日)

【主 催】 宇野亞喜良展実行委員会(秋田市立千秋美術館、AAB秋田朝日放送)、朝日新聞社

【特別協力】 刈谷市美術館

【観 覧 料】 一般1,300円(1,100円) 大学生800円(640円)

※高校生以下は無料

※()内は20名以上の団体、前売、障がい者割引および秋田県立美術館との相互割引料金

※前売券販売所:秋田市立千秋美術館、さがけニュースカフェ、ローソンチケット(Lコード22566)



『きんのお』原画 2017年 著:蜂飼耳、岩崎書店 ©AQUIRAX

日本を代表するイラストレーター、グラフィックデザイナーとして活躍し続ける宇野亞喜良(1934-/名古屋市生まれ)の初期作品から最新作までの全仕事を網羅する、過去最大規模の展覧会です。

本展では、刈谷市美術館の特別協力のもと1950年代の企業広告をはじめ、1960年代のアングラ演劇ポスターや絵本・児童書、近年の俳句と少女をテーマとした絵画まで、貴重な原画や資料等から、時代を超越した宇野亞喜良の華麗で耽美的な創作世界に迫ります。



『ことわざはお好き?』恋する魔女
(For Ladies)口絵原画 1966年
著:立原えりか、新書館 ©AQUIRAX



演劇実験室◎天井桟敷公演『星の王子さま』ポスター
1968年 ©AQUIRAX



「三井信託銀行」ポスター 1971年 ©AQUIRAX

MINEBANE! Contemporary Art
- The Taguchi Art Collection

ミネバネ!

タグチアートコレクション

現代アート

平野政吉コレクション

秋田県立美術館
AKITA MUSEUM OF ART

秋田市立千秋美術館
AKITA SENSU MUSEUM OF ART

【会 期】 2025年7月19日(土) — 9月7日(日) 会期中無休

【会 場】 秋田県立美術館、秋田市立千秋美術館

【主 催】 タグチアートコレクション展実行委員会
(秋田県、秋田市立千秋美術館、秋田魁新報社、公益財団法人平野政吉美術財団)

【観 覧 料】 一般1,500円(1,200円) 大学生1,000円(800円)、高校生以下無料
※()内は前売、20名以上の団体および障がい者割引料金 ※チケットは2館共通

タグチアートコレクションは、世界のトップコレクター200人にも選ばれている実業家の田口弘氏、娘の美和氏の2代にわたって収集された、アメリカ・ヨーロッパ・中南米・アフリカ・アジア・日本など世界各地の現代アート作品からなる国内有数のコレクションです。

本展では、およそ750点からなるコレクションから選び抜いた、絵画や写真、彫刻、映像など、グローバルに活躍するアーティスト81組による個性豊かな作品104点を展示します。展覧会タイトルにある「ミネバネ」は「見なくちゃ」を意味する秋田の方言。2つの会場で「自然の営み」「人間の営み」「モノクローム」「カラー」を切り口に紹介する、現代アートの「今」をお見逃しなく。



ベアトリス・ミルハーゼス《Tonga I》1994年 © Beatriz Milhazes



奈良美智《コスミック》2007年 © YOSHITOMO NARA

秋田県立美術館会場

自然の営み

本章では、花や木、大地、空、海、そこで育まれる動物などの表現に着目し、作家たちの自然にまつわる多彩なアイデアとアプローチを紹介します。

モノクローム

モノクロームとは、一色や単色を意味し、一般には白と黒、その階調であるグレースケールに用いられます。本章では、白黒を基調とした、独創性に富んだ30点を展示します。無彩色での表現に焦点を当てることにより際立ってくる、それぞれの作品の素材感やメッセージ性の違いをご覧ください。

特別展示

安藤忠雄建築にあわせて制作されたグザヴィエ・ヴェイヤンのモビールがエントランスで皆さまをお出迎え。ヴィック・ムニーズによる藤田嗣治作品のリプロダクションが、藤田の大作《秋田の行事》の前に展示されるのも秋田ならではの。

秋田市立千秋美術館会場

人間の営み

社会的な存在であり、他者との関わりの中で生き、家族、地域、国家など、様々な規模の集団の中で役割を担う人間。本章では、人種・民族・ジェンダー・宗教・経済など、人間の様々な営みへと繋がる作品を紹介します。

カラー

心を癒したり、興奮させたりと、心理的な効果を生む色。抽象表現中心の本章では、作家たちが色を巧みに使って創り出した作品と鑑賞者が対峙することで生まれるそれぞれのストーリーをお楽しみいただきます。

ジョナタス・デ・アンドラーデ《Faca nos dentes (Knife in the teeth)》2022年
© Jonathas de Andrade, Photo: Ding Musa, Courtesy of the artist and Nara Roesler.



マーク・クイン《The World's Beginning》2010年 © Marc Quinn Studio, Courtesy of the artist



グザヴィエ・ヴェイヤンによる秋田県立美術館展示作品《Mobile n°1》のためのドローイング



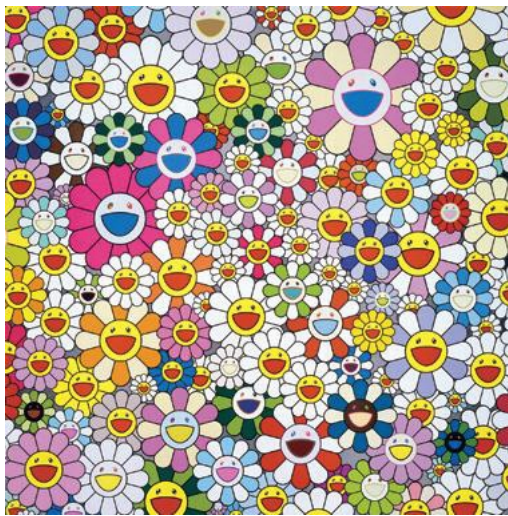
キース・ヘリング《Untitled #4》1988年 Keith Haring artwork © Keith Haring Foundation



秋田県立美術館×秋田市立千秋美術館 2館合同開催

タグコレ過去最大規模の展覧会

これまで美術館において13の展覧会を開催してきたタグチアートコレクション(タグコレ)史上過去最大規模の展覧会です。村上隆、奈良美智はじめ、キース・ヘリング、ダミアン・ハーストといった現代アートの巨匠に加えて、マリナ・ラインガンツ(ブラジル)やザネレ・ムホリ(南アフリカ)、サミュエル・ノロム(ナイジェリア)、ルー・ヤン(陸揚)(中国)といった国際色豊かなアーティストたちの作品により、現代アートの「今」を体感していただきます。



村上隆《黄色い麦藁帽子の女の子》2010年 ©2010 Takashi Murakami/ Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.



コレクション収蔵後、初公開の作品を多数展示

出品作品104点のうち38点(展示作品34点、映像上映作品4点)がタグチアートコレクションへ収蔵後、初公開。多くの展覧会に出品されてきた人気作品だけでなく、世界中から集められた現在のアートシーンを彩る話題の作家たちの作品により、拡大・充実し続ける「タグコレの神髄」をご覧ください。

ハンク・ウィリス・トーマス《Mirror #6》2022年 © Hank Willis, Thomas. Courtesy of the artist and Jack Shainman Gallery, New York.

タグチアートコレクション

ミスミグループ創業者の田口弘氏と長女の美和氏が収集した、世界各地の現代アート作品およそ750点(2025年3月時点)からなるアートコレクション。弘氏の「作品は人に見てもらってこそ意味がある」という思いから収集を続け、個人コレクションでありながらミュージアムピースと呼ばれる大規模な作品が多く含まれる。特定の展示会場はあえて所有せず、特に首都圏以外の現代アートを見る機会が少ない地域において、世界で活躍する同時代の作家たちの作品を鑑賞する機会を提供するため、積極的に展示を行っている。

関連イベント

※イベント詳細は各館HPをチェック

●見でけれ。映像作品上映会

【A】ムン・キョンウォン&ジョン・ジュンホ《妙香山館》
2014年、16分14秒 上映日:7月30日(水)、8月9日(土)

【B】山城知佳子《肉屋の女 2016年版》
2016年、27分30秒 上映日:8月2日(土)、20日(水)

【C】ルー・ヤン(陸揚)《DOKU the self》
2022年、36分 上映日:8月3日(日)、27日(水)

【D】チャン・リーレン(張立人)《バトルシティー1-台湾の栄光-》
2010-2017年、26分22秒 上映日:8月4日(月)、8月16日(土)

【E】チャン・リーレン(張立人)《バトルシティー2-経済の奇跡-》
2018-2021年、45分42秒 上映日:8月5日(火)、8月30日(土)

【F】キューンチョメ《完璧なドーナツをつくる》
2018年、41分38秒 上映日:8月6日(水)、8月31日(日)
9月6日(土)午後2時より完全版(1時間46分)を上映

上映開始時間:午前10時30分、午前11時30分、午後1時30分、
午後2時30分、午後3時30分
会場:秋田市立千秋美術館 3階講堂
(各回定員50名。申込不要。展覧会チケットが必要)



山城知佳子《肉屋の女 2016年版》 © Chikako Yamashiro, Courtesy of Yumiko Chiba Associates



チャン・リーレン(張立人)《バトルシティー1-台湾の栄光-》 © Chang Li-ren, Courtesy of Chi-Wen Gallery and nca | nichido contemporary art

●夏休み特別企画



参考画像:豊田市美術館での様子(2015年)

プロジェクションマッピング holes and buildings (AKITA)

秋田県立美術館の壁に穴が空いちゃった!?夏の夜に本展の出品作家・金氏徹平によるプロジェクションマッピングを開催します。

日時:8月15日(金)、16日(土) 各日とも午後7時~午後9時(荒天中止)
場所:秋田県立美術館エントランス前(屋外)、観覧無料
共同制作:山田晋平(舞台映像デザイナー)

●出品作家によるトークイベント

坂本和也

「自然との関わり、絵画ができるまで」

日 時:7月20日(日)
午後2時30分~3時30分
会 場:秋田県立美術館
レクチャールーム
聞き手:米山茉未(秋田市立千秋美術館学芸員)

青山悟

「消えゆくもの/伝えるべきもの」

日 時:8月11日(月・祝)
午後2時~3時30分
会 場:秋田市立千秋美術館 講堂
聞き手:田口美和(タグチアートコレクション共同代表)

金氏徹平

「日常の中にある表現のヒント」

日 時:8月16日(土)
午後2時30分~3時30分
会 場:秋田県立美術館
レクチャールーム
聞き手:芦立さやか(秋田市文化創造館ディレクター)、後藤仁(ココラボラトリー代表)



※すべて申込は不要ですが、展覧会チケットが必要です。

表紙の「ミネバネ!」は
金氏さんデザイン